

会 議 録

会 議 名	令和4年度第4回野田市総合教育会議
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	1 野田市教育大綱の改訂について（公開） 2 学校図書館の充実について（公開） 3 健康スポーツ文化都市宣言について（報告）（公開） 4 公立幼稚園の在り方について（報告）（公開）
日 時	令和5年1月25日（水） 午前10時35分から午前11時40分まで
場 所	市役所低層棟4階 委員会室
出席者氏名	議長 鈴木有（市長） 教育委員会 染谷篤（教育長） 伊藤稔（教育長職務代理者） 飯田芳彦（委員） 高橋保（委員） 事務局 今村繁（副市長）、牛島修二（市政推進室長）、 宇田川克巳（自然経済推進部長）、山下敏也（教 育次長兼生涯学習部長）、土屋孝之（学校教育部 長）、茂木大介（スポーツ推進課長）、戸塚進（ 生涯学習部次長兼教育総務課長）、安藤剛行（生 涯学習課長）、中居章（学校教育部次長兼学校教 育課長）、間々田英示（指導課長）、石塚誠（学 校教育課長補佐）、田嶋秀志（指導課長補佐兼庶 務係長））、石橋一展（指導課指導主事）、内海 孝幸（市政推進室主幹）、蓮沼憲治（市政推進室 副主幹）、園田憲明（市政推進室主査）
欠席委員氏名	永瀬大（委員）
傍 聴 者	2名
議 事	第4回野田市総合教育会議の会議結果（概要）は、次のとおりである。

市 政 推 進 室 主 幹	会議は原則公開、傍聴の許可、会議資料及び会議録の公表について説明した。 会議録作成のため録音機を使用することについて了承を得た。 出席者及び永瀬委員から欠席の申出があったことを報告した。 以後の議事進行は、野田市総合教育会議運営要項第2条に基づき、市長が議長を務めるものとされていることから、議長を市長に依頼する。
市 長	開会を宣言する。 2名から傍聴の希望があり、許可したことを報告する。 本日協議していただく議題は、「野田市教育大綱の改訂」及び「学校図書館の充実」の2件である。 野田市教育大綱については、令和4年度第3回野田市総合教育会議で協議していただき、その後、教育委員会でパブリック・コメントを実施した。 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、この教育大綱を定め、又は変更するときは、地方公共団体の長は、あらかじめ総合教育会議の場で協議するものとされているため、本日、協議をお願いするものである。 また、「学校図書館の充実」については、教育委員会が考えている学校図書館の充実に向けた取組を説明させていただく。 なお、令和4年度第1回野田市総合教育会議で協議していただいた「健康スポーツ文化都市宣言」及び「公立幼稚園の在り方」について、報告させていただく。 委員の皆様には、自由な意見交換ができるよう忌憚^{きたん}のない御意見を頂きたいと思う。
市 教 育 長	議題1 「野田市教育大綱の改訂について」 趣旨説明を求める。 ＜教育長から趣旨説明＞ 本日は「野田市教育大綱の改訂について」及び「学校図書館の充実について」を議題として、皆様より御意見を頂きたいと考えているので、よろしくお願いしたい。 議題1の「野田市教育大綱の改訂について」は、8月開催の総合教育会議を経て取りまとめた野田市教育大綱（改訂素案）

生涯学習部長 市 伊藤委員	について、パブリック・コメントを実施したところ、3件の御意見を頂いた。 頂いた御意見を検討させていただき、うち1件については、教育大綱に盛り込む形で反映させたいと考えている。 この後、これまでの経過について担当課より説明させるので、御審議をお願いしたい。 ＜配付資料に沿って説明＞ 意見を求める パブリック・コメントを経た修正の部分でも説明があったが、コロナ禍で野田市でもクロームブックが子供たちに一人一台配備されたということで、ICTリテラシーの向上に向けて、現在、野田市が取り組んでいることについて、具体的に教えていただきたい。
指導課長	教職員に対しては、グーグル社から提供される、ICT活用能力に応じた研修会を、令和3年度から実施している。 この研修会では、教職員個々の習熟度に応じて、基礎の基礎から応用発展的な内容を、復習に至るまで幅広く受講可能であり、ICTリテラシーについても学習している。 この研修を受けて児童生徒に対して、具体的に活用の基本となるタイピングの練習などから、SNS利用の際によく問題になりがちな情報モラルなどの学習やインターネットの正しい使い方まで、出前事業や職員による授業を通して指導している。 まずは教職員がきちんと理解した後で、子供たちに指導して、啓発している状況である。
高橋委員	令和4年10月の教育委員会定例会で、教育委員会が毎年実施している点検評価について、具体的な施策を点数化できるものは点数化した方が、市民の皆さんに理解していただけるのではないかという発言をした。 パブリック・コメントの意見2を見ると、同じような考え方をされたのだと思うので、市の考え方にあるとおり、できるものについては定量評価を行っていただければ、市民の皆さんにとって分かりやすいと思う。 是非とも、実現させていただきたいというお願いを感想として述べる。

飯 田 委 員	これは市民の皆さんも当然お読みになるので、分かりやすいのが一番いいと思う。
生涯学習部長	野田版 I C T 教育を「N I C T（ニクティ）」として推進しているが、市民の皆さんがお読みになったときに、何のことか分からなくなならないような表記や書き方、使い方を工夫してほしい。
	高橋委員からの御意見については、10月にも点検評価を分かりやすく数値化してほしいという話も伺っていたので、それも踏まえて、今後もう少し分かりやすい表記にしていきたい。
	飯田委員から御指摘のあった、分かりやすい表記のことを述べると、特に I C T などの横文字については、本当に分かりづらいところもあるため、市民の皆さんが分かるような表記にしていきたい。
市 長	意見がないので、決定し、次の議題に移る。
市 長	議題 2 「学校図書館の充実について」 趣旨説明を求める
教 育 長	<教育長から趣旨説明> 「学校図書館の充実について」は、学校図書館の現状を、これから求められる課題、今後の整備の方針等を委員に示すとともに、皆さんに御意見を頂いて、学校図書館の充実に取り組んでいこうとするものである。
指導課長	詳細はこの後、指導課より説明をさせるので、よろしく御審議いただきたい。
指導課指導主事	<配付資料に沿って説明>
指導課長	<配付資料に沿って説明>
市 長	<配付資料に沿って説明> 意見を求める
伊 藤 委 員	学校図書館の一人当たりの貸出数が、市内の小学校、中学校ごとにばらつきがあることに少し驚いた。この違いは、図書館支援員の配置と関係しているのではないかと思われる。図書館支援員が配置されている学校の一人当たりの貸出数は多いように読み取れた。
	先ほどの説明の中で、紙ベースの図書とデジタルの百科事典

指導課長	を使って子供たちが新聞等を作るときに、学校で使うソフトなので、著作権や引用などの許可を得て使用していると思う。 I C Tではなく情報モラルの問題の話になるが、大学生にレポートを書かせると、随分立派な文章を書いてくるので、自分で書いたのか尋ねると、どこかから引用してきて、写真や言葉をそのまま載せてしまっている。そういうことをやってはいけないということを、小学生のころから習慣として、情報モラルを含めて教育できることに感心した。 そこにつながるが、調べる学習コンクールにおいて、調べて書くときに、コピーアンドペーストではなく自分の頭で考えて学習をして書くための具体的なプランは、教育委員会で立てているか。 学校図書館コンクールは興風図書館が主となり指導課と連携して進めていく。 来年度は5月頃を予定しているが、学校の図書担当の教職員や図書館司書、学校図書館支援員を対象とした研修を通して、調べる学習コンクールでどういうことを行うか周知していく。 その段階で、伊藤委員からも御指摘のあったモラルの部分も含めて子供たちへも指導が必要であることを、研修で伝えていく。 さらに、子供たちを対象にした調べる学習コンクールで作品を作るための研修会や勉強会を、夏休みに入ってすぐに行いたいと考えていて、その研修会や勉強会の場においても、子供たちにモラルの話をするを考えている。
高橋委員	学校図書館の充実は本当に大事なことだと思う。 特に活字離れが言われている時代なので、本に親しむということを是非習慣化してもらいたい。 先ほど説明の中で、学校予算については、千葉県の中で比較的上位に位置しており、大変ありがたいと思う。 ただし、学校図書館には基準があると思う。 一学級当たりで計算式を出していると思うが、この基準については、市内の小中学校はどの程度か。 また、昔のことで申し訳ないが、図書の廃棄については少し待つように指導した記憶が片隅にあるので、現在どうなってい

指導課長	るのか教えていただきたい。 学校図書館には、高橋委員から御指摘があったとおり、学校図書館図書標準の中で文部科学省が定めた冊数がある。 学級数に応じて蔵書の標準冊数を求める算式があり、市内の小中学校の状況は、野田市の小学校における図書標準の充足率は平均すると105.3%で、中学校は平均すると92.8%である。 学校ごとに見ると、市内の小学校では20校中12校、中学校では11校中4校が学校図書館図書標準を上回る一方で、残念ながら達成できていない学校もある。 次に、情報の古い図書や破損した図書については更新が必要なので、標準冊数の達成のみにとらわれず、今後も各学校の状況を指導課で見定め、図書の購入を学校が計画的に進められるようにし、その結果古い情報の本は廃棄しつつ図書標準はクリアできるように、リーダーシップをとって図書購入を進めていきたい。
高橋委員	ありがとうございました。是非、今説明していただいた方向で図書を更新してほしい。 私も常々、学校図書の利用を増やすには何が必要か考えてきたが、特に小学校では図書室に人がいないことが問題だと思う。人がいれば安心して図書室を利用できる。 なぜ安心かというと、学校の中にあっても、図書室は静かな環境で本を読んだり調べたりという考え方が強いので、校舎の隅に図書室が配置されていることが多い。教室が並ぶ中央に学校図書館を置いている学校は多くないのではないかな。 そういう学校内での配置のこともあり、10分しかない休み時間ではなかなか学校図書館まで行けない。 そして、学校図書館に行っても人がいないと利用しづらい。そのため、学校図書館支援員を増やして配置していただけることは有り難いと思った。 この支援については市長、是非とも予算化をよろしく願いしたい。 飯田委員からも話があるかもしれないが、図書を廊下などに分散して置いている学校もあるようで、この取組は大いに図書の利用促進ができると思う。私も手伝うので、足りない部分を

指 導 課 長	どうカバーしたらいいかを考えながら、学校図書館が充実していると言えるような施策をよろしくお願いしたい。 ありがとうございます。 高橋委員の御指摘どおり、遠い場所に学校図書館があつて、なかなか子供たちが行けない状況になっている学校もある。 そのような学校でも、子供たちがすぐに手にとれる教室の前の廊下や空き教室を使って必要な書籍を用意して、子供たちに活用してもらうことを、モデル校となっている岩名中学校や清水台小学校などのほかにも今後実施する学校が更に出てくるかもしれない点も踏まえて、私どもで情報を吸い上げ、各学校に情報を提供していきたいと思っている。
飯 田 委 員	私も市民の一人なので、是非予算をつけていただきたいと思っている市民が高橋先生も含めて少なくとも二人である。非常に有難いと思う。 資料で、児童生徒が学校図書館に行きたくなる工夫がない、学校図書館に行く時間がないと書いてあり、先ほど高橋委員の発言にもあったが、たまたま私が昨年の12月に福田中学校に行ったときに、通用口や廊下などを活用して本を並べていた。 校長先生に、いい取組だと話したが、資料を見ると、福田中学校は学校図書館支援員が配置されていないにもかかわらず、一人当たり17.2冊が借りられているということは、創意と工夫によって子供たちの興味を引いて図書を読んでもらえる施策ができているのだと思った。 そういう学校の取組を他の学校にも情報共有していただければ非常に有り難いと思う。 また、学校図書館支援員増員の話があったが、具体的にどの程度増やす想定なのか教えていただきたい。
指 導 課 長	予算のことを二人の委員から要望を頂いているが、教育委員会としても、学校図書館に関わる予算要求をしており、例えば飯田委員から質問のあった学校図書館支援員については、来年度は7名から11名に増員して小学校全20校に配置できるように要求している。 中学校についても、来年度は学校図書館の活用が低調な3校に配置できるように要望している状況なので、実現できるよう

市 指 導 課 長	に3月末まで精一杯準備を進めていく。 学校図書館の興風図書館との関わりをもう少し詳しく説明してほしい。
市 指 導 課 長	学校図書館と興風図書館で、同じく本を扱っている部署でありながら、これまでなかなか連携されていなかったということは大きな課題である。 そこで今年度は、例えば興風図書館の司書とともに全小中学校を訪問し、学校図書館のどこに問題があるのか、指導課指導主事だけでは分からない部分を専門的な見方で指導してもらった。 また、先ほど申し上げた調べる学習コンクールも、興風図書館が主となって実施する予定だが、夏休みに学校に提案することで、より多くの子供たちに取り組んでももらいたいと考えている。 その他、日頃から教育委員会内で指導課と興風図書館で連携し、学校図書館がより充実するように取り組んでいる。興風図書館には、特に選書についてのアドバイスをお願いしている。 子供たちから図書のリクエストも取るが、実際にどういう本をそろえたら子供たちが喜ぶか、専門家のアドバイスを頂きながら、学校図書館を充実させたいと考えている。
市 指 導 課 長	学校図書館の開館時間が短すぎると子供たちから意見が出ているので、図書を充実させ、司書教諭や学校図書館支援員を配置しても、学校図書館に行く時間が少ないと思うが、どのように考えているか。
市 指 導 課 長	現状は、昼休みや、小学校の二、三時間目の間にある業間休みなどの長い時間の利用を想定している学校がほとんどだが、私どもとしては一日中、朝から晩まで開館をしている、つまり学校図書館に行くと鍵がかかっておらず中に入ることができ、何らかの方法で本を借りられるような体制を整えていくように指導してきた。引き続き各学校に指導していく。 そのために、教職員が行くことができない時間に学校図書館支援員などが学校図書館に居ただけると、さらに学校図書館に行きやすくなると考えている。
市 指 導 課 長	意見がないので、次の議題に移る。

市 長 スポーツ推進課長 市 長	議題3 健康スポーツ文化都市宣言について（報告） 報告を求める。 ＜配付資料に沿って説明＞ 質疑及び意見を求める。 意見がないので次の議題に移る。
市 長 学校教育課長	議題4 公立幼稚園の在り方について（報告） 報告を求める 公立幼稚園の在り方について、令和4年度におけるこれまでの経過を報告する。 令和4年度第1回野田市総合教育会議の場で、教育長から、近年増加している発達上の支援を要する園児の受皿を担っている野田幼稚園の3年保育を令和4年10月から開始するとともに、インクルーシブ教育を推進していくためにも、私立幼稚園にも支援を必要とする園児を受け入れるための職員の加配補助制度を導入してほしいと要望した。 野田幼稚園の3年保育の実施に当たり、野田地区私立幼稚園協会から提出された要望について、市としてもこれまで教育委員会が私立幼稚園との連携を十分に行ってこなかったことを反省し、野田地区私立幼稚園協会と協議を行った。 野田幼稚園の3年保育は、「こばとプレルーム」に通う子供の保護者からの強い要望を受けて実施するものであり、10月の園児募集はその子供たちを対象に開始することで理解していただいた。 令和4年10月4日に入園式を行い、新たに12人の園児を迎え、スタートしている。 また、私立幼稚園とともに取り組む幼稚園のインクルーシブ教育の推進については、私立幼稚園協会からの要望である近年増加している発達上の支援を要する園児に対し必要な支援を行うため、障がいのある幼児であっても配慮を要する幼児であっても、幼児を受け入れる私立幼稚園に対して、野田市私立幼稚園要配慮幼児等教育支援事業補助金を交付することとした。 さらに、幼稚園教諭の人材確保に対する支援について、野田

市 長	地区私立幼稚園協会からの要望を受け、必要な幼稚園教諭数を確保するため、幼稚園教諭として採用された方に対する就労奨励金の支給や民間賃貸住宅の家賃補助金制度を令和５年度から実施するため、規則を制定し準備を進めている。 引き続き野田地区私立幼稚園協会と意見交換を行いながら、今後も市内の幼稚園教育の振興に取り組んでいく。 質疑及び意見を求める。 <異議なし>
市 政 推 進 室 主 幹	議題の協議を終了し、事務局に連絡事項を求める。 次回の会議の開催予定をお知らせした。
市 長	この際、ほかに自由意見を求める。 <ほかに意見なし> 閉会を宣言した。 以上